

平成30年度 横須賀産業ビジョン推進委員会 議事録

- 1 日 時 平成30年11月12日(月) 10:00～11:30
- 2 場 所 横須賀市役所 3号館3階 301会議室
- 3 出席委員 葛西委員、木村委員、島委員、佐藤委員、丹下委員、上之段委員
- 4 事務局 経済企画課 青柳課長、内藤課長補佐、吉崎
- 5 傍聴者 なし

6 議事概要

会議は、次第(別添)のとおり進行した。

主な会議の要旨は次のとおり。

I 委員の紹介

自己紹介により行った。

II 推進委員会について

推進委員会の位置付けについて、事務局から説明を行った。

III 委員長の選任について

委員の互選により、木村委員が委員長に選任された。

IV 委員長代理の指名について

木村委員長より、丹下委員を委員長代理に指名した。

V 諮問について

経済部長から委員長へ諮問文書を手交した。

VI 議題

事務局から説明を行い、質疑応答や各委員からの意見をもらった。

(1) 横須賀産業ビジョン 2011 の取り組みについて」

(2) 「本市における最近の主な取り組みについて」

【丹下委員】

ポケモン GO のイベントの経緯について教えてほしい。

【事務局】

位置情報を使ったインGRESというアプリゲームのイベントを横須賀市を中心に行ったことがあり、その開発会社であるナイアンティック社がポケモン GO を開発したという経緯がある。

【上之段委員】

事前申し込みにして人数を絞ったので、混乱もなかった。全国から来ていただいたので、宿泊や、飲食など、それ相当の経済効果はあったのではないかな。

【丹下委員】

観光・集客に対するイベントはエッジのきいた個性的なものが出てきた印象がある。ぜひ引き続きやっていっていただきたい。

【佐藤委員】

ポケモン GO のイベントは、広く周知されていたのかな。

【上之段委員】

もともとポケモンに関心のない方は、あまり知らなかったのではないかな。

今、さまざまなイベントを行い、集客のいろいろな仕掛けを行っているところだが、それをいかに消費につなげ、地元還元していくかが課題である。

【丹下委員】

横須賀市中小企業アドバイザーネットワークはすごくいいと思う。特に支援した事例を紹介したページがいい。以前、横須賀の会社・産業をもっと対外的に発信したほうがいいという話をしたが、その1つの回答かなと思う。もっと対外的に発信していくと、横須賀の産業・企業についてわかり、人材確保にもつながる。こういう取り組みを引き続き発信していただきたい。

【事務局】

これは年2回発行する。いろいろな企業を紹介していくのと同時に、経営者の方に気軽に相談できる場を作りたい。事例集を配りつつ、アドバイザーネットワークをPRしていきたい。

【上之段委員】

まずは相談に来てきてもらい、対応しきれないことは別の機関を紹介していくということを積極的にやっていきたい。相談する方の敷居を低くして、相談しやすい仕掛けをつくっていくことが必要だと考えている。

【佐藤委員】

西海岸通り沿いに、サイクリングの道があるといいのではないかな。休憩所なども作って、元気なシニアが過ごせるようにしてほしい。

【事務局】

横須賀は、今サイクリングに力を入れている。マイルストーンの設置やマップの作成などを行っている。房総半島とつないで長い時間を過ごしてもらい、市内で消費をしてもらえるように考えている。西海岸は風光明媚なところが多いが、道路の拡幅が難しい。

【葛西委員】

西海岸は交通の便が悪いので、公共交通機関が整備されるといい。

【島委員】

休日は道路の渋滞があり、バス便の整備は課題だと感じている。

【木村委員長】

京急の組み合わせの切符が好調と聞いているが。

【島委員】

「よこすか満喫きっぷ」という企画切符を販売しているが、非常に好調である。地元を巻き込んで一緒にやらないと、リピーターが来る企画を作ることはできない。

ポケモンの際は、電車にも多く乗っていただいたが、ホテルも非常に好調で、経済効果は大きか

ったと思う。こういうイベントは自治体でないとなかなか誘致できないので、自治体に誘致していただき、きちんとした受け皿をつくり、ゆくゆくは自立できるように長い時間をかけてすすめていけたらと思う。

【上之段委員】

猿島・ソレイユの丘・くりはま花の国のような公共が持っている集客施設を民間とタイアップし、それを消費につなげられる仕掛けもつくりながらすすめていきたい。

(3)、「横須賀市中小企業景況レポートについて」

【上之段委員】

横須賀だけの問題ではないが、どの業種も人手不足が深刻と言われている。商工会議所やハローワークと協力しながら対応していかなければならない。人材が市外に流れてしまうので、市内に定着していただくような仕掛け必要だと考えている。

【木村委員長】

今国会で審議しているが、外国人材を簡単にに入れてしまっているのか。使っていない労働力がまだまだいっぱいあるのに、簡単に外国人を入れるのは問題だと思う。眠っている労働力を掘り起こすべきではないか。

【上之段委員】

本市でも、外国人労働力について、どういうやり方がいいのか勉強し始めたところである。

【葛西委員】

労働力の市外流出は、横須賀の賃金が安いのだが、企業側は、あまり多くは払えない。主婦の方は、扶養の範囲を超えないように、仕事を休んでしまうので、労働力確保のためには税制を改正した方がいいのではないかと。

【丹下委員】

横須賀として、「高齢者雇用に取り組む街」というようなことをやってはどうか。外国人よりも、まず女性や高齢者を活用すべきである。高齢者の求人と求職にミスマッチが起きている。高齢者の意識を変えてもらうことが大切だが、それよりも継続雇用してもらえるといいのではないかと。そういうことに取り組んでいる街だと、市としてもアピールしてはどうか。

以上